



巢子新駅・まちづくり事業住民説明会(1月12日)



Q1 巢子新駅の見直し必要

桜井 博義 議員

A1 計画を縮小し進めたい

Q1

巢子新駅の事業費が膨らみ続け、このまま推し進めて良いのか。設置場所の選定は、三候補地より現地に決定した経過は、地域住民は多くの利用客が見込める中心付近を求めていたのではないのか。住民合意の上と考えているのか。所有権移転に伴う、場所選定に村民にどう説明するのか。事業規模が目まぐるしく変更になった今、再検討すべきだと思いますがどう考えているのか。

A1

9年、10年に設置可能性の検討調査を行い、三地点の駅間のバランスと地理的条件が利便性、経済性に一致せず、その後の設置検討委員会で検討を行いました。設置場所は各委員からそれぞれの意見がありました。現地視察をおこない、発展性、経済性などから現在の位置に集約されました。新駅設置に係るこれまでの経緯を踏まえて進めます。事業は最小限の整備をするよう縮小したいと考えます。

Q2

来年度に向けた介護保険制度の見直しについて。

今度の見直しを、村はどう受け止めているのか。見直しにより、本村はどんな影響、問題点が考えられ、その対策は考えているのか。介護労働者の身分、待遇はどう改善されているのか。

A2

厚生労働省で各方面からの意見、要望などを参考に改革大綱をまとめ、村も報告を受けていますが、まだ結論に至っていません。介護保険財政安定化のため、軽度者の自立を図る目的から、村の抱える課題を解決できるものと考えています。問題点としてケアマネジメントの中立、公平性の確保、専門員担当利用者数が多いためにケア担当が十分にできないなどがあります。介護職員は低い賃金と不十分な雇用条件が指摘され、魅力ある職業としての社会的評価を向上させ、職員を支援するシステム導入も検討されています。